

千葉市の訓練実施結果

訓練の 目的	<p>自助・共助・公助の理念のもと、市民、防災関係機関及び市が緊密な連携をとり、実践的な総合防災訓練を実施することにより、本市の災害対応能力の向上及び防災体制の充実強化を図るとともに、市民の防災意識の高揚及び減災への備えの向上を図る。</p>
日 時	令和7年8月31日（日） 9：30～13：00
会 場	イオンモール幕張新都心周辺
規 模	参加機関（団体） 69機関 参加人員 約700名
想定地震	<p>発災日時：令和7年8月31日（日）9：50 地震タイプ：千葉市直下地震 震央：千葉県千葉市 震源の深さ：22.0km 地震規模：マグニチュード7.3 最大震度：震度6強（千葉市） 被害状況：市内全域で、家屋の倒壊や道路の損壊などのほか、ライフライン（電気、ガス、水道、通信など）の停止など、大きな被害が発生している。また、火災も各所で発生している。</p>
訓練項目	<p>(1) 主会場 ・実動訓練 ・展示・体験コーナー ・救援物資供給訓練 ・トリアージ及び通信・伝達訓練</p> <p>(2) 地域会場 ・避難所開設・運営訓練 8月24日（日）8：30～10：30 ほか※ ※地域会場訓練は、複数日程で実施</p> <p>(3) いっせい防災訓練 ・シェイクアウト訓練 9月1日（月）9：30～</p>
訓練の 特徴	<p>1 主会場訓練 (1) 弾道ミサイル発射を想定した国民保護情報の伝達に伴う避難行動・避難誘導訓練を実施した。 (2) 令和6年能登半島地震を踏まえ、道路啓開訓練後に救出・救護訓練を実施するなど、発災後の時系列に沿った流れを重視した訓練項目を精選した。</p> <p>2 避難所開設・運営訓練 (1) 市内の指定避難所を対象として避難所開設・運営訓練を実施した。 (2) 各区1か所の指定避難所を重点訓練会場に設定し、避難所運営委員会と来場者が参加するAED実技訓練や、簡易トイレの実演などを行った。</p>

<p>参加機関</p>	<p>(1) 国・県の機関 陸上自衛隊高射学校(高射教導隊)／千葉県警察／千葉県企業局／千葉県災害福祉支援チーム(DWAT)／千葉県障害福祉推進課精神保健福祉推進班(DPAT)</p> <p>(2) 市民参加組織など 市内避難所運営委員会／市内町内自治会／美浜区自主防災組織／千葉市SLネットワーク／千葉市赤十字奉仕団</p> <p>(3) 民間企業・団体など 公益財団法人千葉市防災普及公社／特定非営利活動法人千葉レスキューサポートバイク／千葉県災害救助犬協会事務局／千葉酪農農業協同組合／山崎製パン株式会社千葉工場／日本防災士会千葉県支部／株式会社清水商会／防災関連企業／一般社団法人千葉市身体障害者連合会／セーフィー株式会社／株式会社BONX／イオン株式会社／イオンリテール株式会社 南関東カンパニー／イオンモール株式会社イオンモール幕張新都心／イオンペット株式会社</p> <p>(4) 協定機関 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会／一般社団法人千葉市建設業協会／千葉市下水管路維持協同組合／協同組合千葉市管工事業協会／協同組合千葉電設協会／生活協同組合コープみらい／千葉市造園緑化協同組合／公益社団法人千葉県獣医師会千葉支部／株式会社ジェイコム千葉 千葉セントラル局／千葉中央生コンクリート協同組合／トヨタ勝又グループ／株式会社ドコモCS千葉支店／NTT東日本株式会社／日本郵便株式会社千葉中央郵便局／東京電力パワーグリッド株式会社千葉総支社／東京ガス株式会社千葉支社／東京ガスネットワーク株式会社千葉導管ネットワークセンター／一般社団法人千葉県介護福祉士会／公益社団法人千葉県LPガス協会千葉支部／大多喜ガス株式会社供給部千葉事業部／一般社団法人千葉県トラック協会／大塚製薬株式会社／公益社団法人千葉県柔道整復師会／一般社団法人千葉ドローン協会／一般社団法人日本ドローンビジネスサポート協会ドローンスクール千葉TBT／公益財団法人千葉市国際交流協会</p> <p>(5) 指定公共機関 日本赤十字社千葉県支部／ソフトバンク株式会社／楽天モバイル株式会社</p> <p>(6) 消防機関 千葉市消防局／千葉市消防団</p> <p>(7) 医療機関 千葉県総合救急災害医療センター(DMAT)／千葉市立海浜病院</p> <p>(8) その他 市内指定避難所</p> <p>(9) 九都県市広域応援協定自治体 埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県／横浜市／川崎市／さいたま市／相模原市</p>
-------------	--

<p>訓練の成果</p>	<p>1 主会場訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実動訓練においては、令和6年能登半島地震での教訓を反映し、閉塞された救助現場への進入路を啓開した後の救出・救護訓練を実施するなど、関係機関がそれぞれ保有する知識と能力を十分に発揮した協同・連携を実践的に行うことができた。 ・展示・体験コーナーにおいては、長期にわたる断水に備えたトイレ対策としての携帯トイレなどの備蓄品や簡易トイレなどの展示、ペット避難のための備品やパネル展示のほか、災害時の情報収集活動などに効果的なドローンの操縦体験などのコーナーを開設し、市民の防災意識の高揚を図ることができた。
--------------	---

・訓練会場を民間商業施設としたことにより、集客力とアクセスの容易性に加え、幅広い年齢層の方へのPR効果と防災イベントとしての波及効果を得ることができた。

2 避難所開設・運営訓練

市内指定避難所での避難所の受け入れなどの訓練により、地域住民、施設管理者及び避難所担当職員からなる避難所運営委員会の連携強化を図り、約4,000人の参加のもと、災害対応能力の向上を図ることができた。

3 千葉県シェイクアウト訓練

幼稚園や学校、企業などを中心に、約100,000人の参加登録のもと訓練を実施し、多数の市民へ自助についての啓発を行うことができた。